

公益財団法人応用科学研究所

令和3年度第3回理事会議事録（遠隔会議）

1. 開催日時 令和4年3月23日（火）14:00～15:30
2. 開催場所 公益財団法人応用科学研究所森記念研究棟2階会議室
京都市左京区田中大堰町49番地
及び遠隔会議（Zoom）システムを介して交信可能な各拠点（下記）
3. 理事現在数及び定足数
現在数 10名、定足数 6名
4. 出席理事数 9名
（本人出席）北野 正雄、久保 愛三、成宮 明、野村 俊雄、松岡 裕明
〔遠隔地出席〕大原 久典（自宅）、川崎 一博（自宅）、
柳原 正裕（DMG 森精機）、山路 伊和夫（京都大学）
（監事出席）〔遠隔地出席〕西 亨（自宅）、村上 博保（村上博保会計士事務所）
（議案説明及び報告）久保理事長、北野副理事長、野村常務理事、成宮常務理事、松岡理事
5. 議案 第1号議案 『特定費用準備資金の一部繰越について承認』を求める件
第2号議案 『資産取得資金の計画変更の承認』を求める件
第3号議案 『令和4年度事業計画書、収支予算書及び資金調達
並びに設備投資の見込の承認』を求める件
第4号議案 『就業規則 改定』の件
第5号議案 『パワーハラスメントの防止に関する規程 新設』の件
第6号議案 『電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程 新設』
の件
第7号議案 『理事の利益相反取引の承認』を求める件

- 報告事項 1. 利益相反取引に関する重要な事実のご報告について
2. 職務執行状況報告（令和3年度第2回）

6. 開会・議長の選出並びに議事録署名人の選出

会議開始にあたって、野村事務局長が、本日の理事会は遠隔会議システムを利用して行われる旨を述べ、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意思表示が互いに出来ることを確認した。

(1) 定足数の確認等

14:00 に野村事務局長が理事9名及び監事全員の出席を確認し、久保理事長の冒頭の挨拶の後、事務局長から本会議の議事進行及び議案資料について説明があった。

(2) 開会及び議長の選出並びに議事録署名人の選出

定款第46条に基づき久保理事長が議長となり、本会議の成立を宣言した。

議事録署名人は定款第51条の規定に基づき、久保理事長、北野副理事長、西監事、及び村上監事とし、議案の審議に移った。

7. 議事の経過の概要及びその結果

第1号議案 『特定費用準備資金の一部繰越について承認』を求める件

令和3年度に計上された2つの「特定費用準備資金」のうち、「研究開発活性化等積立資産」300万円については、本年度中に全額が費消できず、残額おおよそ200万円を繰り越して令和4年度、令和5年度の二年間にわたり、各約100万円を費消することについての承認を求めた。審議の結果、この件は承認された。

第2号議案 『資産取得資金の計画変更の承認』を求める件

平成30年度に計上された資産取得資金（2100万円）の残額につき、令和2年度理事会で承認された執行時期繰り延べ（令和6年度以降）を変更し、令和3～5年度に前倒し執行する計画変更につき承認を求めた。審議の結果、この件は承認された。

第3号議案 『令和4年度事業計画書、収支予算書及び資金調達並びに設備投資の見込の承認』を求める件

令和4年度の事業計画書について野村事務局長より、また収支予算書と資金調達及び設備投資の見込みについて成宮理事からそれぞれ下記の議案説明があった。

最初に令和4年度の事業計画書については、まず公益事業1の研究開発事業の基盤研究については、材料評価・開発研究室では材料プロセスに関する研究を、また松浦研究室や長村研究室では、テーマの見直しを行い高性能永久磁石や超電導直流送電に関し新たな切り口での基礎研究を開始し、歯車寿命強化、複合表面処理および鋼材品質評価法の実用化については、探索的研究の仕上げに向け取り組む。

第1種受託研究では、機械基盤研究施設において、14社の参加を得て進めている公募型研究プロジェクト「高速X線回折測定による鋼材品質判定法の開発」の、3年計画の第2年目を進める他、企業からの委託を受けて、銀被覆ビスマス系線材の超電導特性評価や希土類系永久磁石の高性能化などの研究課題が進められる。

第2種受託研究は本研究所が委嘱した他大学、高専等の研究者が、企業からの研究費で行う単年度研究で、令和4年度に入ってから委託者が決定されるが、近年減少傾向にあるため、引き続き各種拡大策を講じ、第2種研究の再興を図る。

第3種受託研究は、公的機関の資金により行う研究で、既に採択済の科学研究費助成事業関連テーマや外部公的研究機関の研究分担者としての活動の他、新規に科学研究費助成事業の申請も進める。

公益事業2では、従来からの研究成果の実用化と技術指導、超電導技術に関する国際標準化の課題の他に、これまでから行っている試作受注・計測受注を行い、また見学者へのデモなども引き続き実施されるが、社会人教育については、COVID-19の蔓延のため、前年に続き令和4年度も開催は見送る予定。

収益事業では高周波焼入れとプラズマ窒化処理を令和4年度も力を入れて行う。

次に収支予算書の説明があった。

まず経常収益については、コロナ禍の収束見通しが難しいことに加え、東欧の戦乱による経済回復の遅れなどから、本年度から微増の1億5692万円を見込んでいる。これは中期計画に比べて

約1割減である。一方経常費用は昨年度に引き続き緊縮基調での編成であるが、賃上げ原資、消耗品費、修繕費など将来にわたり安定した収益を確保するための費用を確保した。また光熱水料費についても費用増としている。その他については費用の節減に努め、費用総額は1億5803万円と前年並に抑えた。当期計上増減額は111万円の赤字となる見込みであり、入るを図り、出るを制して、赤字幅の削減に努めるとの説明があった。また収支予算内訳表について説明があり、公益会計の基準を満足している旨の説明があった。続いて資金調達並びに設備投資の見込みにつき説明があった。

これらの説明に基づき、議長から各理事の意見が徴された後、全員異議なく本件は可決承認された。

第4号議案 『就業規則 改定』の件

事務局から下記の説明があった。

既に2020年6月1日に施行されている「改正労働施策総合推進法（パワハラ防止法）」が、中小企業に関しては2022年4月1日からの施行となり、本財団もその対象となる。これに対応するべく就業規則を改定し、併せてこれまで欠けていた情報管理関係条項も盛り込んで本規程を改めるとして就業規則（案）の内容説明があり、審議の結果、全員異議なく可決承認された。

第5号議案 『パワーハラスメントの防止に関する規程 新設』の件

事務局から下記の説明があった。

就業規則において、委任規定である第36条の規定に対応するものとして、新設するパワーハラスメントの防止に関する規程（案）の内容説明があり、審議の結果、全員異議なく可決承認された。

第6号議案 『電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程 新設』の件

事務局から下記の説明があった。

改正電子帳簿保存法が本年（2022年）1月に施行されたことに伴い、電子一タで受け取った取引情報の保存ルールを許容選択肢から選ぶ必要があり、本研究所としては、最もコストの低い「訂正削除の防止に関する事務処理規程の備え付け」をもって対応したいとして、新設する電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の内容説明があり、審議の結果、全員異議なく可決承認された。

第7号議案 『理事の利益相反取引の承認』を求める件

理事の利益相反取引の承認を求める件について、野村事務局長から次の説明があった。

本議案は、本研究所が2016年度から進めている新規業務を継続して進めるに当たり、2022年度も久保理事長が代表を務めるKBGTクボギヤテクノロジーズに対し、本研究所から以下の内容の業務委託を行うことに関し、利益相反取引の承認を求めるものである。

（KBGTクボギヤテクノロジーズへの業務委託が最適な理由）

KBGTクボギヤテクノロジーズの専門能力を活用し、且つ本研究所の施設も活用しながらコストパフォーマンスを発揮することがベストと判断されること。

（取引の重要事項）

取引内容 : 金属材料や機械部品の特性評価・解析並びに評価レポート作成、
及び機械装置設計・エンジニアリング に関する請負業務
取引期間 : 2022年4月1日から1年間
取引価格 : 相当する業務請負の市場価格以下
但し、1年間の総取引金額は1,200万円を超えないものとする。

これらの説明に続き、議長の北野副理事長への交代、利害関係者である久保理事長の退場の後、北野議長から各理事の意見が徴され、残る出席理事全員異議なく本件は可決承認された。

8. 報告事項

議長の求めにより、下記2件の報告があった。

- (1) 利益相反取引に関する重要な事実のご報告について野村事務局長から報告された。
- (2) 職務執行状況報告(令和3年度第2回)

ここで、(2)令和3年度第2回職務執行状況の報告については、別添の配布資料を元に説明があった。報告者はそれぞれ《全般運営》が久保理事長、北野副理事長、野村常務理事及び成宮常務理事、《研究開発運営》が久保理事長及び成宮常務理事、《総務・工場運営》が野村常務理事及び松岡常勤理事であった。

以上をもって、全ての議案の審議と報告が終了したので、議長は閉会を宣し、解散した。

上記の決議を明確にするため、定款第51条により、出席した理事長、副理事長、並びに監事が議事録署名人としてこれに署名押印する。

令和4年3月23日

公益財団法人応用科学研究所令和3年度第3回理事会

議事録署名人 理事長 久保 愛三

令和4年3月23日

公益財団法人応用科学研究所令和3年度第3回理事会

議事録署名人 副理事長

北野 正雄

令和4年3月23日

公益財団法人応用科学研究所令和3年度第3回理事会

議事録署名人 監 事 西 亨

令和4年3月23日

公益財団法人応用科学研究所令和3年度第3回理事会

議事録署名人 監 事 村上 博保